

	金沢大学 保健系分野 (薬学)
学部・研究科名	医薬保健学域 (創薬科学類 (4年制) : 40名、薬学類 (6年制) : 35名) 医薬保健学総合研究科 (M: 38名、D3 : 11名、D4 : 4名)
沿革・設置目的	<p>加賀藩卯辰山養生所の流れを汲み、第四高等学校医学部薬学科、金沢医科大学附属薬学専門部等を経て、昭和24年、薬学に関する教育・研究を行うことを目的とし、金沢大学薬学部が設置された。</p> <p><u>昭和24年(1949年) 金沢大学設置と同時に薬学部設置</u></p> <p>昭和39年(1964年) 大学院薬学研究科(修士課程)を設置(昭和60年(1985年)に博士課程を設置、昭和62年(1987年)に自然科学研究科(博士課程)に改組、平成9年(1997年)に自然科学研究科(博士前期課程・博士後期課程)に改組、平成24年(2012年)に医薬保健学総合研究科に改組)</p> <p>平成16年(2004年) 国立大学法人に移行</p> <p>平成18年(2006年) 薬学科(6年制)、創薬科学科(4年制)を設置(平成20年(2008年)医薬保健学域薬学類(6年制)、創薬科学類(4年制)に改組)</p>
強みや特色などの役割	<ul style="list-style-type: none"> ○ 医薬保健学域の理念等に基づき、豊かな人間性、高い倫理観、幅広い教養を身につけた主導的な薬剤師を養成するとともに、人類の健康増進や医薬品の創製につながる先端的な基礎研究・応用研究分野で活躍する、高度で専門的な知識と技能を身につけた多様な人材の養成を行う。 ○ 創薬研究に従事している企業人等を受け入れ、最先端の知識と高い研究能力を兼ね備えた博士人材を育成する。また、現職薬剤師を受け入れ、高度な医療薬学関連の専門知識・技術及び優れた研究能力を兼ね備え、北陸・中部地方で主導的な役割を担う薬剤師を養成する。 ○ 環境や毒性学分野、薬物動態関連分野を中心に、医学・保健学・理工学系とも連携した研究展開や若手を中心とした研究を組織的に推進するとともに、次代を担う人材を育成する。